

根室・室根交流の会

【根室市】

はじめは？

平成11年、一通の書簡をきっかけに日本でも類のない「逆さ地名」が縁で、根室市と岩手県一関市室根町との交流活動が始まりました。

遠隔の地というハンデを克服して、マラソンや駅伝などのスポーツ親善交流、お互いの地場特産品である根室の「海の幸」と室根の「山の幸」などによる物産交流と創作料理の開発や、地域の特色を活かした郷土芸能による相互交流を続けています。近年は小学校間交流や北方領土啓発活動へと年々活動の幅を広げています。



互いの特産品による創作料理を発表

おもな活動



室根小が育てた米を根室小で餅つき

交流の原点でもあるスポーツ交流を基本に、幅広い分野での交流を進めています。

1. お互いのマラソン大会や駅伝等に参加し、スポーツを通して培われた関係は様々な活動を産み、交流の架け橋となっています。
2. 秋の収穫祭等で、根室(貝殻昆布、昆布醤油、かに、さんま)と室根(米、果物、地鶏)の特産品販売は好評を博しています。
3. 小中学校では、郷土学習「室根の餅米づくり」「根室の昆布作業」の取り組みと、学校給食を通じ地場食材の活用を図っています。
4. お互いの理解を深めるため、図書館に「根室コーナー、室根コーナー」を設け、様々な資料を展示して地域住民のお互いの理解が深まるようにしています。
5. 太平洋に注ぐ河川の上流に位置する室根地区の豊かな森づくりに励む地域の方々に賛同して、植林用の苗木を送る運動を始めました。今春は根室の木「チシマザクラ」苗木50本を送りました。

ここが自慢

【心の触れ合いが交流の原点】

最初は文通で心の交流、次いでスポーツで人的交流、近年は特産品で物的交流、さらに文化的情報交流へと活動の幅を広げ、その成果は地域に着実に根付いています。

スポーツは人の感性を磨き、人に感動を与え、人の心を揺り動かす原動力ともなります。また、物流によって相互の特産品を生かした様々な創作料理を開発、お互いの食卓を賑わすまでとなっています。郷土に根付いた文化活動は、地域の人々の想像力と郷土愛を育みます。

交流の原点である、人と人との心の触れ合いを大切に、次代へと受け継いでいきます。



お祭りでお互いの特産品を販売

データ

■代表者: 志和秀春さん / 設立: 1999年 / 会員: 32名

■連絡先: 北海道根室市宝林町2丁目20番地7

■電話: 0153-22-8750

■FAX: 0153-22-8750